様式２

# 令和4年度　調布市立八雲台小学校　学校評価報告書（学校長　小野　勝政）

| 学校の教育目標 | | |
|---|---|---|
| ○よく考える子 | ◎思いやりのある子 | ○健康な子ども |
| **目指す学校像(ビジョン)　例）学校像，教員像，児童・生徒像** | | |
| 一人一人の児童が安心して通うことができる学校 | | |

## 調布市立学校における共通した領域　＜短期的な経営目標＞

| | 1　豊かな心(徳) | | 2　確かな学力(知) | | 3　健やかな体(体) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | (1)　具体的な取組 | 評価 | (1)　具体的な取組 | 評価 | (1)　具体的な取組 | 評価 |
| | ①　感染拡大防止策を講じながら、学年集会を定期的に行い規範意識を育てるとともに道徳性を高める。 | A | ①　全学年で交換授業を行う。 | B | ①　運動量を確保した体育科授業の実践を積み重ねる。 | B |
| | ②個別指導計画を活用し、特別な支援を要する児童の理解と対応に努める。 | A | ②モバイル端末を効果的に活用した授業を行う。 | A | ②　学級遊びの充実を図り、休み時間に全校児童が外遊びをするようにする。 | B |
| | (2)　成果（数値目標に対して） | 評価 | (2)　成果（数値目標に対して） | 評価 | (2)　成果（数値目標に対して） | 評価 |
| | ①　道徳の時間等、心の教育の充実に努めていると肯定的な回答 90%を達成できた。 | A | ①　勉強が分かると肯定的な回答８３%にとどまった。 | B | ①　体育を専門とする教員が中心となり運動量を確保した授業実践が増えた。 | B |
| | ②　友達に優しくしていると肯定的な回答 95%を達成することができた。 | A | ②　全教員が１日１回以上、ＩＣＴ機器または児童用タブレットを活用した授業を行うことができた。 | A | ②　概ね１日１回の外遊びができていたが、室内遊びを好む児童は、学級遊びで外遊びを行った。 | B |
| 学校関係者評価 | ○学年間の共通理解だけでなく、学年を越えた共通理解で、学校全体で児童を見てほしい。<br>○それぞれの先生の個性が発揮されている学級がたくさんあった。ぜひ、各学級のよさを学校全体で共有してほしい。<br>○いじめ・不登校の対策に力を入れて指導を進めてほしい。 | | ○ＩＣＴを活用して視覚的に分かりやすい授業が多く見られた。<br>○教室や廊下の掲示物から学習の様子がよく分かった。先生方の苦労がうかがえる。<br>○国語の校内研究の成果が、主体的に意見を交換し合う姿から感じられた。 | | ○運動量を確保した取組は今後も実践していただき、子どもたちには体を動かす時間を十分に取ってほしいと思う。 | |

## 学校の特色を生かした領域　＜短期的な経営目標＞

| | 4　保護者・地域との連携 | | 5　特色ある教育活動 | | 6 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己評価 | (1)　具体的な取組 | 評価 | (1)　具体的な取組 | 評価 | (1)　具体的な取組 | 評価 |
| | ①　地域コーディネーターを有効活用し、地域学校協働本部の活性化を図る。 | B | ①　特別支援学校との交流、副籍交流の活動を確実に行う。 | A | ① | |
| | ②学校ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの更新頻度を高め、児童の様子を保護者・地域と情報共有できるようにする | A | ②開校７０周年行事を通して、愛校心や地域愛の心を醸成する。 | A | ② | |
| | (2)　成果（数値目標に対して） | 評価 | (2)　成果（数値目標に対して） | 評価 | (2)　成果（数値目標に対して） | 評価 |
| | ①　地域組織と連携して子どもの健全育成に努めていると肯定的な回答８４%にとどまった。 | B | ①　感染防止対策を講じて、年１回以上直接または間接交流を行うことができた。 | A | ② | |
| | ②　情報発信をしていると肯定的な回答 90%を達成することができた。 | A | ③　周年行事を通して、愛校心・地域愛の心情の醸成につながった。 | A | ② | |
| 学校関係者評価 | ○コロナ禍においてもできる限りの行事をしていただいてありがたい。保護者・地域がもっと参観できる時間があればうれしい。 | | ○特別支援学級の児童の頑張りを認める心が育つことが、いじめのない学校につながるはず。<br>○校舎内がきれいになった。いつ来校してもきれいな廊下が印象的。これからもきれいな学校でいてほしい。 | | | |

## 人材育成・組織運営

| | |
|---|---|
| 自己評価 | ○交換授業により、教員一人一人の授業力向上を図るとともに学年における指導の統一を図ることができた。<br>○学年集会を定期的に実施することで、学年運営を円滑にすすめるとともに、全体指導の場を若手教員にも経験させ、指導力向上につながった。<br>○校内委員会の充実を図り、いじめに繋がる事案の早期解決とともに児童の特性を見極めた通級指導への適切な接続につなげることができた。 |
| 学校関係者評価 | ○国語の校内研究の成果が見られ、児童の主体的な意見交流が見られた。<br>○学年としての運営だけでなく、学校全体として児童が見れるような共通理解を図ってほしい。<br>○命の大切さを繰り返し指導し、いじめ・虐待のない学級・学校であり続けてほしい。 |

## 中期的な経営目標の達成状況

些細なトラブルをいじめにつながる認識に立って指導することで、自他を尊重する心と態度の育成されてきている。校内研究を充実させることで、教員の授業力向上につながってきている。異学年交流を通して、思いやりのある行動が増えてきている。校内委員会の充実により、在籍学級の担任と通級指導担当の教員の連携が密になってきている。

## 次年度の重点課題

○交換授業を継続し、教員一人一人の授業力向上を図るとともに学年における指導の統一を図る。
○学年集会を定期的に実施することで、学年運営を円滑にすすめるとともに、全体指導の指導力を高める。
○校内委員会の充実を図り、いじめに繋がる事案の早期解決とともに児童の特性を見極めた通級指導への適切な接続をすすめる。